

★DPI日本会議

障害のある人たちがあつまっているいろいろな活動をしています。障害のある人もない人も、ともに自分たちらしく暮らせる社会、「インクルーシブ社会」を創ることを目指しています。障害のあるなしで分けられるのではなく、どんなところでも、ともに社会生活を送ることがとても大切だと、私たちは信じて活動しています。



★アクセプションズ

社会に多様性の素晴らしさを発信し、ダウン症のある人、その家族、そしてすべての人が自分の能力を活かし、お互いを尊重できるインクルーシブな社会の実現を目指しています。日本で初めてニューヨーク発祥の「バディワーク」を東京渋谷で開催しダウン症のある人の魅力を発信しています。



★「インクルーシブ丸ごと実現プロジェクト」って？

誰もが仲間外れにされることなく、のびのびと暮らせる社会の実現のためのキーワードが「インクルーシブ」です。子ども時代からともに学び育つこと（これを「インクルーシブ教育」といいます）で、障害の有無で分け隔てられることのない、誰もが自分らしく暮らせる社会を創ることができます。

このプロジェクトは、「インクルーシブな子ども時代づくり」と「ソーシャルインクルージョンの視点に基づく障害者文化芸術」の二本柱でできています。

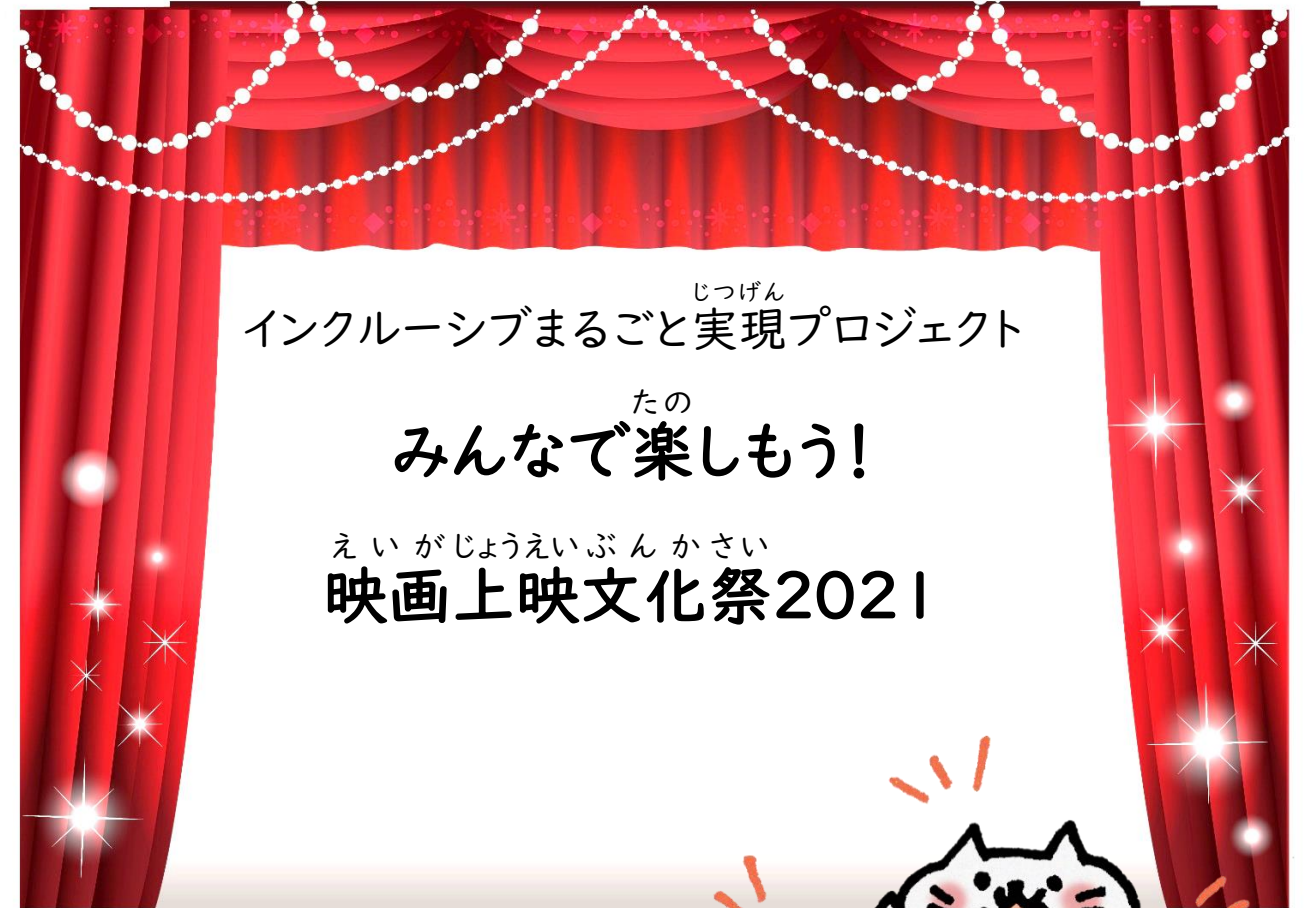
<会場に飾ってある絵画の作家のご紹介>

岡部亮佑さん・・・東京都生まれの現在28歳。重度の知的障害と自閉症をもつ障害者。特別支援学校高等部卒業から数カ月後に1人暮らしを始めてから9年目。日中は通所施設に通いながら、都内の自宅アパートでヘルパーを使いながら自立生活をしています。絵は3歳頃から描くようになり、今では絵画展に作品を出展することも増えてきています。

Shihoさん・・・東京都在住。特別支援学校高等部、放課後デイサービスに通いながら余暇に絵を描いています。ある日、学校の先生に「もっと手に合った画材で描くといいかもしれませんね。」といわれ、それまでは、色鉛筆やクレヨンなどの鉛筆類で描いていた彼女にあう画材を探したところ、さまざまな絵の具類に出会いました。すると、彼女はその時その時の気持ちに合う画材を手にし、まるで色を奏でるかのよう筆を走らせるようになりました。絵は気持ちの自由な表現であり、精神的な成長とともに作風が変わってきています。今回は、アキーラ（水性アルキド樹脂）という画材を使った作品を展示します。

下林慶史さん・・・1987年生まれ、京都府在住。脳性まひ当事者。幼少のころから独学で絵を描いています。絵に対して「好き」や「楽しい」といった気持ちを大切にしながら描き続けています。

こうえきざいだんほうじん 公益財団法人 キリン福祉財団助成事業



インクルーシブまるごと実現プロジェクト

たの
みんなで楽しもう!

えいがじょうえいぶんかさい
映画上映文化祭2021

○プログラム

- 11時 開会あいさつ
- 11時20分 映画上映「耳をすませば」
(13時11分～14時10分 昼休み)
- 14時10分 ダンサナクセイバー動画上映
- 14時25分 トークセッション
- 14時55分 映画上映「道草」
- 16時30分 閉会

◆主催：認定NPO法人DPI日本会議

◆協力：NPO法人アクセプションズ



★バリアフリー映画って？

目の見えない人、耳の聞こえない人にも映画を家族や友だちと一緒に観てもらえるよう、「音声ガイド」や「日本語字幕」を付けた映画の事です。さらには、じっとしているのが難しい人、激しい光や音に過敏な人にも配慮した上映を目指しています。

UDCastとは、字幕や手話の表示、音声ガイド再生等を行うことのできる無料アプリケーションです。映画や放送番組、Web動画、演劇やパフォーマンス、展示施設等のあらゆる文化芸術、障害や言語の壁を越えて誰もが楽しめるものにする事を目的としています。

★この映画祭の特長！

いま、街なかにある映画館では、上映中に「しゃべらないでください」「席を立たないでください」などによくアナウンスされます。そのようなありがたが、さまざまな障害を持つ人たちを映画館から遠ざけているという声、DPI日本会議がおこなったアンケートで明らかになりました。どんな障害があってもなくても、みんなで一緒に映画などを楽しむ空間、なんでもアリの楽しい時間。それが、「みんなで楽しもう！映画上映文化祭」です。

○この映画祭は、こんな工夫、配慮がされています！

自由に場所を選べる車いす席、周りの視線が気になる方のためのパーテーション(間仕切り)席、椅子ではなく直接床に座れるマット席の用意があります。それから、映画の上映中でも、今日はいつでも出入りしていいですよ。もしもなにか必要なことがあったら、スタッフへお気軽にお声がけください♪

!これだけは守ってください(皆さんにお願いしたいこと)

1. 会場の決まりで、お食事をすることは禁止されています。ただし、水分補給のためにフタのついたペットボトルで飲料を飲んでいただくことは大丈夫です。
2. 会場にはゴミ箱がないので、もしもゴミが出たら、各自お持ち帰りください。
3. 会場に飾ってある絵は、作家のかたが一生懸命に描いた大切な作品です。ですので、手を触れたりしないでください。

☆トークセッション! 登壇者のご紹介☆

おおこうちなおゆき
大河内直之さん

ほうじん えいがけんきゅうかいりじちよう しかくしょうがいしゃ
NPO法人バリアフリー映画研究会理事長。視覚障害者

おかべこうすけ
岡部耕典さん

わ せ だ だいがくぶんかこうそうがくぶきょうじゆ えいが みちくさ しゅつえん おかべりょうすけ ちち
早稲田大学文化構想学部教授。映画「道草」出演の岡部亮佑さんの父

ふるいちみちよ
古市理代さん

ほうじん りじちよう
NPO法人アクセプションズ理事長

さい たかのり
崔 栄繁

にほんかいぎぎちようほさ
DPI日本会議議長補佐

きょう じょうえいさくひん 今日の上映作品

ごぜん ぶ みみ ぶん
◆午前の部「耳をすませば」(111分)

ほん だいたす ちゅうがくせい しょうじょ しずく かのじょ とき としよ
本が大好きな中学生の少女・雫。彼女はある時、図書カードに
なんど つら だんし な み だんし あまさわせいじ
何度も連ねられた男子の名を見つける。その男子・天沢聖司
の 名 に、あわ こいごころ いた しずく じっさい あまさわ
の 名 に、淡い恋心を抱く雫。だが実際の天沢は、ぶしつけで
粗野なヤツだった……。中学生の男女が繰り広げる淡い恋愛
模様を、さわやかなタッチで綴る。(公式サイトより)

じまく おんせい つ おんせい ほうしき かいじょう
☆字幕・音声ガイド付き。音声ガイドはオープン方式で、会場
全体に流れます。

ご ご ぶ みちくさ ぶん
◆午後の部「道草」(95分)

く ばしよ かぎ ひと じへいしょう じゅうど ちてきしょうがい じしょう たがい
暮らしの場所を限られてきた人たちがいる。自閉症と重度の知的障害があり、自傷・他害といった
こうどうしょうがい ひと せけんとの あいだ せん ひ かこ うち へだ
行動障害がある人。世間との間に線を引かれ、囲いの内へと隔てられた。

せかい へいそく かる つ やぶ どうきょう まちかど かいごしゃつ ぐ おく
そんな世界の閉塞を、軽やかなステップが突き破る。東京の街角で、介護者付きのひとり暮らしを送る
ひと たち。タンポポの綿毛をとばし ブランコに揺られ、季節を闊歩する。

かいごしゃ あ とき さげ ふ おろ こぶし つた がた おも
介護者とのせめぎ合いはユーモラスで、時にシリアスだ。叫び、振り下ろされる拳に伝え難い思いが
にじむ。関わることはしんどい。けど、関わりなくなることで私たちは縮む。

ひと ひと ちか こうしき
だから人はまた、人に近づいていく。(公式サイトより)

じまく おんせい つ おんせい ほうしき ひるやす じかん
☆字幕・音声ガイド付き。音声ガイドは FM ラジオによるクローズ方式です。お昼休みの時間に、
きぼうしゃ かたぜんいん おんせい しょう きかい か だ
希望者の方全員に、音声ガイド用の機械をお貸し出します。

